

メディアコミュニケーションII

指導目標	メディアコミュニケーションIで学んだことを土台に、①自分の頭を使って考えることができる ②自分も含め多様な人たちを受け入れることができ、ともに生きることができるようになる ③メディアを多角的な視点で見ることができ、自分なりに付き合っていけるようになる ④自分の考えをまとめ、相手に文章で伝えることができる を指導目標とする。テキストの項目に沿って、I.メディア・リテラシー、II.やらせと中立公正、III.マスメディアの課題、IV.メディア論、V.プレインストーミングについて、VI.相手に伝わる文章を、VODの視聴→セッション参加→ネットレポート作成・提出→振り返り、で学び、定着を図る。
------	---

教材	教科書：「メディアコミュニケーションII」 学習書：なし 補足資料あり レポート：ネットレポート	レポート 面接指導 放送 効果測定・試験	全6回 必要時間数：8時間 全20回（VOD） 年度末試験（1月）
----	--	-------------------------------	--

単位	2単位
評価	【①知識・技能】主に中間到達度チェック、年度末試験での成果にもとづき評価します。（一部、レポート課題の成果も含まれます。） 【②思考・判断・表現】主にレポート各回の学習内容・成果にもとづき評価します。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート提出状況（提出期限）、セッション出席状況（必要時間の出席充足）、VOD視聴状況にもとづき評価します。 上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

添削指導（レポート）		面接指導（セッション）		VOD		オンライン指導		中間到達度チェック 年度末試験	
月	回数(提出期限)	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	日	内容	内容	内容	内容・範囲
4			1	<セッション概要> ・2グループ（地域別AとB） ・火曜日 A13:30～、B14:30～		(資料) ノートの取り方	オリエンテーション		
			2	・セッション前日に参加練習					
			3		27	1-1：メディアリテラシーの定義、基本概念、3活動			
			4			1-2：映像言語 映像5本、参考CM			
5			1						
			2						
			3	①第1回セッション ・メディアの定義・基本概念・3活動・映像言語 <実習>CMの映像言語分析	19	2-1：テレビが売っている商品 (1)2-2：テレビが売っている商品 (2)			
6	第1回 6月10日	「メディアリテラシー」 ・定義 ・基本概念 ・3つの活動 ・映像言語	4	①ショット、ジョルト数 ②テンポとショット数、カメラワーク、編集との関係 ③CM分析で気づいた・感じたこと					
	第2回 6月30日	「メディアリテラシー」 ・映像メディア「テレビの歴史」	1	②第2回セッション ・テレビが売っている商品 <実習>	8	3-1：テレビの歴史① 3-2：テレビの歴史②			
			2	①ドラマで注目した商品はあったか ②プロダクトプレイスメントの具体例					
			3	③第3回セッション ・テレビの歴史 <実習>	24	4-1：やらせ 4-2：公平の原則とニュース性、 言論の自由、情報操作			
			4	①メディアと技術の関係の具体例 ②メディアの進歩とメディアの関係					
			1	④第4回セッション ・やらせと中立公正 <実習>	2	5-1：記者クラブ制度 5-2：スポンサー、大手広告代理店			
			2	①現在のテレビでもやらせがあるか ②現在のテレビは中立公平か ③それに対して私たちはどうするか		5-2-2：相手に伝わる文章			

7	第3回 7月25日	「やらせと中立公正」 ・公平の原則とニュース性 ・言論・表現の自由 等 「マスメディアの課題」 ・記者クラブ制度 ・スポンサー ・大手広告代理店 「相手に伝わる文章」	⑤第5回セッション ・マスメディアの課題 ・相手に伝わる文章 3 <実習> ① 4 広告代理店の役割、広告代理店とメディア にまつわる事件を調査 ②マスメディアが健全になるには私たちは どうすればいいか				
8			1 2			前半まとめ	
			3 4	第1回前期補講			
9			1 2	第2回前期補講			
			3 4	⑥第6回セッション ・新聞とテレビの今後 <実習> ①テレビと新聞、インターネットは今後ど うなっていくと思うか	24 6-1:メディア論 6-2:新聞とテレビの今後		
10			1 2	⑦第7回セッション ・インターネットの優位性 ・メディアとビジネス <実習> ①インターネットと紙メディアではどちら が優位か。その物差しは ②メディアとビジネスの関係について	5 7-1:インターネットの優位性 7-2:メディアとビジネス		
	第4回 10月20日	「メディア論」 ・既存メディアの今後 ・インターネットの優位性・ メディアとビジネス 「相手に伝わる文章」	3 4	⑧第8回セッション ・メディアの影響 <実習> ①メディアが報じないことをどうしたら気 づくことができるか ②メディアは私たちの生活全般に影響を及 ぼしているか ③メディアの不調が私たちの不調にならな いためにはどうしたらよいか	14 8-1:メディアの影響① 8-2:メディアの影響②		
11			1 2	⑨第9回セッション ・メディアの3つの機能 ・メディアとコミュニケーション <実習> ①メディアの構築機能は機能していると思 うか、その理由 ②反対給付義務について具体的にあげる	8 9-1:メディアの3つの機能 9-2:メディアとコミュニケー ション		
	第5回 11月25日	「メディア論」 ・メディアの影響 ・3つの機能 ・メディアとコミュニケー ション 「相手に伝わる文章」	3 4				
12			1 2	⑩第10回セッション ・ブレインストーミング ・KJ法 <実習> セッションで実際にブレインストーミング をおこなう	8 10-1:集団における意思決定 10-2:ブレインストーミング、K J法		
	第6回 12月15日	「ブレインストーミング」 ・集団における意思決定 ・ブレインストーミング ・KJ法	3 4			後半まとめ	
1			1 2	第1回後期補講			

		3 4	第2回後期補講			年度末試験 (レポート第1回 ～第6回)
2						
3						